

2024年度 東レエンジニアリング西日本(株) 環境報告書

ごあいさつ

東レエンジニアリング西日本株式会社は、エンジニアリング（Engineering）と保全（Maintenance）の両事業（E+M）を2本柱として、安全で高品質な製品・サービスを提供できる安定成長企業を目指して事業展開しております。

具体的には東レおよび東レエンジニアリンググループの一員として、東レ工場設備における工事、機器製作、保全業務を長年担当してきたほか、これらの事業で培ってきた技術・経験をベースに、東レ以外の企業様にもお役に立つことを目指しております。

当社は東レ滋賀事業場内に事業場を置いていることから、環境保全・環境活動について東レ滋賀事業場と同一歩調で取り組みを行っています。

今後とも、当社は天津市環境保全協定の実施に向けて努力を続けて参ります。

環境方針

- 【環境理念】**
1. 環境保全は、企業活動の基礎であり、必要な施策は優先的に実施します。
 2. 環境保全関係法令を遵守するとともに、自主的な環境管理を推進します。
 3. 環境保全に対し、自己責任を持ち自主管理を徹底します。
 4. 地域環境の保全等の諸活動に対し、社会各層との相互理解と協力関係の強化に努めます。
 5. 地球環境保護に対し、積極的役割を果たします。
- 【環境管理活動】**
1. 事業活動の全段階において、環境への影響に関し十分な事前検討を行い、環境保全のための適切な措置を講じます。
 2. 良好な環境を達成し、保持するための設備・機器を設置するとともに、これらを適切に運転・保守し、さらに必要な改善を加えることにより日常の自主管理を徹底させます。
 3. 従業員の環境保全に関する意識の高揚に努め、環境保全に関する法規・規則の教育を計画的に実施します。
 4. 異常発生時や緊急連絡を要する場合の連絡・責任体制を周知徹底します。
 5. 事業活動上の環境保全措置に関し、積極的に啓蒙活動を行います。
 6. 地球環境保護、地域環境の保全・改善等の活動に対し、地域社会の一員として積極的に参画するとともに、従業員の自主的な参画を支援します。
 7. 協力会社の環境管理活動の推進について、積極的に指導、援助します。

会社概要

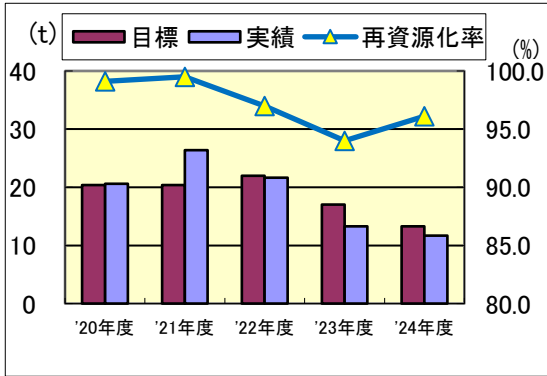
会社名：東レエンジニアリング西日本株式会社 設 立：1973年9月6日 資本金：80百万円 本 社：〒520-0842 滋賀県大津市園山1丁目1番1号 東レ滋賀事業場内 関西技術センター4階 株 主：東レエンジニアリング株式会社 東洋電機株式会社 代表者：代表取締役社長 高田 昌彦 許可業種： ・ 特定建設業 特-02第18627号 機械器具設置工事業、管工事業、 電気工事業 ・ 一般建設業 般-02第18627号 消防施設工事業	事業内容： 機械・電気・計測・プラント・各種 工事の設計施工管理、設備・機器の メンテナンス、制御盤の設計・製作 ・ 据付 従 業 員： 375人
--	---

2024年度
環境保全活動

2024年度 東レエンジニアリング西日本（株）環境マネジメントプログラム

番号	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要条件 (要員・設備・資金等)
1	総廃棄物量の削減	目標 11.1t/年以下 (前年実績：13.3t/17.0t)	・削減計画の周知徹底とフォロー ・産廃物の分別の徹底 ・産業廃棄物の取扱いと処分の徹底 ・紙のリサイクル、分別 ・書類電子化による紙の削減	・産廃物分別の再徹底 ・定期的な報告とフォロー強化 ・機密書類のリサイクル化
2	エネルギー消費量削減 省エネルギー推進	電力消費量： 270.0Mwh以下 (前年目標/実績： 272.0Mwh/225.0Mwh)	・削減計画の周知徹底とフォロー ・冷暖房の温度管理徹底 ・不用時、照明オフの徹底	・定期的な報告とフォロー強化 ・省エネルギー月間の活動推進
3	環境トラブルゼロ	目標 環境トラブル 0件 (前年実績：0件)	・教育訓練による意識アップ ・一般排水経路のチェック ・工事保安対策会議の充実 ・改正フロン法による業務用 エアコンの管理徹底	・環境教育の計画的推進 ・環境設備点検の完全実施 ・定期的なフォロー実施
4	建屋周辺の美化推進	3回/年以上の実施	・定期的な除草およびごみ拾い	・部会別で実施

2024年度環境保全活動結果
1. 総廃棄物総排出量について



目標達成のために、

- ・2024年度削減計画のPR
- ・ゴミ分別の徹底
- ・ペーパーレス化の推進
- ・毎月の活動データの集計、フォロー 他を実施

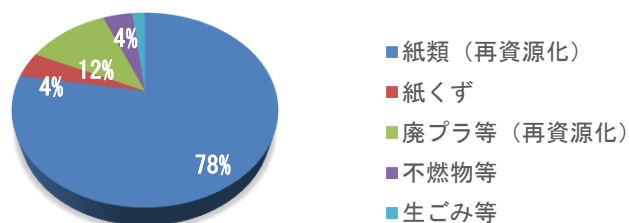
2024年度実績（目標）
総廃棄物量 11.7t/年（目標:13.3t/年）→目標達成
再資源化率 96.1 %

当社の事業形態から、受注量に伴い廃棄物量に大きく影響します。
2024年度は2023年度の実績を踏まえ、目標値を設定しました。

前年度比で廃棄物量を削減し、目標値も達成することが出来ました。また、再資源化率も前年度94%から96.1%に上がっています。社員一人ひとりが高い意識を持って産廃物削減、リサイクルの推進した結果になります。

2025年度も継続的な事業拡大を目指すと同時に、廃棄物の適正な分別および処理を怠らず、社員一人ひとりの意識定着を目指し、東レグループと歩調を合わせた廃棄物削減、リサイクルの推進に取り組めます。

廃棄物の内訳



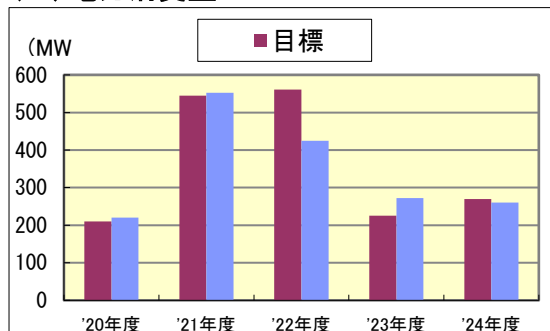
2024年度 紙リサイクル率：94%

2024年度は機密書類の融解リサイクルなどを実施し、リサイクルを推進しました。

2025年度も引き続き、ペーパーレス化の推進、リサイクルの推進などに取り組みます。

2. 省エネルギーの推進（電力・燃料消費量の削減、省エネ活動）について

（1）電力消費量



目標達成のために

- ・ 2025年度削減計画のPR
- ・ 不用時の電源OFF化の再徹底と実施
- ・ 昼休憩時の館内消灯
- ・ 冷暖房の温度管理徹底 他を実施しました。

2024年度実績（目標）

電力消費量 260MWh（目標：270MWh）

2024年度は2023年度の実績を踏まえ、目標設定をしました。

日常に於いて、不用時の電源OFFや昼休み時間の館内消灯、空調管理など、社員一人ひとりの意識による身近な節電に努めることで目標を達成しました。

弊社は東レエンジニアリング株式会社の建屋内に所在している関係上、同社より合算した電力消費量の報告がされております。つきましては、今後、弊社単独での電力消費量に関する報告は控えさせていただきたく、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3. 環境異常件数ゼロ、建屋周辺の美化

（1）環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル：0件（目標：0件）

軽度トラブル：0件（目標：0件）

引き続きトラブルゼロを継続します。

目標達成のために

- ・ 教育による意識アップ
- ・ 排水経路のチェック
- ・ 業務用エアコンの管理徹底 他を実施しました。

4. 建屋周辺の美化推進

当社社員による建屋周りの除草および国道1号線沿いのゴミ拾いを年3回実施。

今後も継続して実施し、周辺の美化、環境の維持に努めます。